



# 今こそ かなざわ 和夫さんとともに!

# 政策制度要求実現！ 兵教協決起集会

ーともに創ろう！ どの人も どの地域も かがやく兵庫をー



6月19日、神戸市教育会館大ホールで政策・制度要求実現！兵教協決起集会が開催された。兵教組・兵高教・兵厚労・兵退教協のみなさん、約700人が神戸市教育会館およびオンラインによりサテライト会場から参加した。  
「ともに創ろう！どの人も　どの地域も　かがやく兵庫を」のスローガンを掲げ集会はおこなわれた。

川原芳和兵教協議長の主催者あいさつの後、来賓を代表して、兵政連会長のみずおか俊一参議院議員から、激励・連帯のあいさつが述べられた。（下記参照）  
続いて、推薦書を手交した後、「かなざわ和夫」さんの決意表明がおこなわれた。

（下記参照）

引き続き、兵教組、兵高教、兵厚労、兵退教協のそれぞれ代表者から、県知事選挙にむけたとりぐみへの決意が力強く述べられた。

これまでの知事選と同じ部分と違う部分がある。私たちの目の前にいる子どもたちや兵庫の教育を守つてほしいという要求は同じである。「かなづ」さん



## 兵政連会長 みずおか俊一 参議院議員

**心から信頼のおける  
「かなざわ**  
**さん！**

現在、私は、県内各地域をまわり、それぞれの地域の様々な課題を聞き、私の考へている兵庫県政や地域の将来のあり方を話していく。その時にみなさんから言われることは、長期間、新型コロナウイルス感染症のストレスや重圧にさらされており、我慢し続けていく。「なんとかこの状況を変えてほしい」という気持ちが非常に強い。

それぞれの地域によって違ひがある。その違いを「違い」として認めた上で、どうに考へるのが、兵庫県政の伝統だと思う。五国の多样性を大切にする姿勢は、これからも失つてはならない。当局と組合、それぞれ考へていることが違う。それを一つの場において、お互ひの立場、意見をしつかりと相手に伝え合う。その上

それぞれの地域によって違ひがある。その違いを「違い」として認めた上で、どうに考へるのが、兵庫県政の伝統だと思う。五国の多样性を大切にする姿勢は、これからも失つてはならない。当局と組合、それぞれ考へていることが違う。それを一つの場において、お互ひの立場、意見をしつかりと相手に伝え合う。その上

「改革」は必要である。しかし、変えてはいけないものがある。それをしつかり見極めることができ、「改革者」の大変な役割である。すべてを変えるという改革は、改革ではなくただ壊していくだけである。私は「真の正しい改革者」でありたい。守るべきものを守り、変えるべきことは変えられる。これまでの井戸県政の单なる後継者になるつもりはない。改革か継承か

である。私は教育のボイ、トはここにあると考えている。子どもたちにはそれだけ個性があり、能力に違はない。しかし、置かれていた状況が違う。そうした子どもたちの持つている可能性を十分に花開かせる状況をつくっていくのが教育だとさる。それぞれの子どもはしつかりむきあい、子どもの可能性を丁寧に伸ばしてあげる教職員が必要不可欠である。のような教職員

地域が共にかかやく兵庫を創るためには、30人以下の学級で、スクール・サポート・スタッフの更なる充実が必要である。

兵庫県は、それぞれ異なる地域、基本的な文化、気候や風土などまったく違うエリアに属する5つの国東ねて一つにしたものであります。単に5つではなく、様

**30人以下学級の実現、  
スクール・サポート・スタッフの拡充にむけて**

前身歴史論文  
かなざわ和夫さん

「眞の正しい改革者」でありたい！

はなく、正しい改革と正しい継承はセットになってる。私がめざす兵庫像として、「どの人もどの地域もにかがやく兵庫」を掲げている。どの人もどの地域様々な違いがある。そのいのある人や地域のそれが光り輝く、決して影なることはない。それぞが可能性を最大限に花開せるチャンスをもつ。そんな兵庫をつくりたい。教育に関して、30人以下の級とスクール・サポートシステムは今更

いなければ、様々な状況ある子どもたちを丁寧に、それぞれの状況に応じて、学ばせることができなく学ばせることができなくなる。「時間」と「人手」教職員にしっかりと保障する環境がなければ、違ひある子どもたち一人ひとりを輝かせる教育をするこは難しいと思っている。人ひとり輝かせるには、より少ない子ども、より多教職員、教職員を支えるタッフが必要になつてくる。私のめざすべき方向はきらかである。私のめざすべき方向は、「子育ての、子育ての、兵庫県は、兵庫県が五国の多様性もつてることを兵庫県はそれぞれ意識しながら、こうした兵庫県の特質ささらに伸ばし發揮することができれば、ポストコロニアル地図になるではないかという思いをきながら、未来の兵庫の、を描いている。